

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB)	授業コード	E002551
担当教員名	橋本 堅次郎		
配当学年	2	開講期	後期
必修・選択区分		単位数	2
履修上の注意または履修条件			
受講心得	毎回、発表を行い授業として連続しているので出席を重視します。		
教科書	授業の中で指定し、テーマによってはプリントを使います。		
参考文献及び指定図書	ドラッカー「マネジメント」		
関連科目	マーケティング関連、経営学総論		

授業の目的	ドラッカーの考えるマネジメントを軸にして知識を習得することを目的とします。
授業の概要	授業のオリエンテーション、発表、解説、レポートの流れで授業を進めます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション ・考えると考え抜くの違い。・前期の振り返り。・ピーター・F・ドラッカーについて	
第2週：ピーター・F・ドラッカーと時代背景 ・前回の振り返りと質問 ・ドラッカーの生きた時代 ・ドラッカーが生まれてアメリカに渡るまで。	
第3週：ドラッカーの名言「もっとも重要なことから始めよ」 ・前回の振り返りと質問 ・時間を体系的に使う(タイムマネジメントを学ぶ) ・ドラッカーの著作について(代表的著作) ・演習	
第4週：ドラッカーの習慣「手続きを明確にする」 ・前回の振り返りと質問 ・手続きを明確にするとは ・なぜ計画が必要か? ・計画のレベルを上げる。 ・演習	
第5週：ドラッカーの名言「あなたは何をもって覚えられたいか？」 ・前回の振り返りと質問 ・ミッション(使命)とは ・ミッションについて考える ・演習	
第6週：代表的著作「マネジメント」 ・前回の振り返りと質問 ・マネジメントとは何か? ・演習	
第7週：マネジメント 何のための企業か? ・前回の振り返りと質問 ・企業が達成すべき5つの目標 ・演習	
第8週：マネージャーとは ・前回の振り返りと質問 ・マネージャーにはどのような資質が必要か?	
第9週：ドラッカー経営の実例 ・前回の振り返りと質問 ・ドラッカー経営の実例「亀田メディカルクリニック」	
第10週：イノベーション ・前回の振り返りと質問 ・イノベーションを起こす7つの機会	
第11週：イノベーション事例	

・前回の振り返りと質問 ・イノベーション事例「四季クラブ」		
第12週：組織・チームを動かし成果を出す。 ・前回の質問と振り返り ・もしドラではどうしたか？ ・チームマネジメントのレベルを上げる ・目的を達成する仕組みをつくる。		
第13週：マーケティング ・前回の振り返りと質問 ・もしドラでのマーケティング ・サービスとは何か？		
第14週：強みで勝負する・人の強みを活かす ・前回音振り返りと質問 ・事例「もしドラ」 ・人の強みをどう活かすか		
第15週：成果について考える。 ・前回の振り返りと質問 ・ドラッカーの5つの習慣		
第16週：期末試験 期末試験はありません。出席状況、授業への貢献、毎回のレポートで評価します。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	組織・チームを使って成果を出すことに関心を持つ。
【知識・理解】	ドラッカーの考え方・著作を中心に「マネジメント」についての知識を得て理解を深める
【技能・表現・コミュニケーション】	ゼミ生同士の討議や交流、発表を通して伝える技能、コミュニケーション能力を高める。
【思考・判断・創造】	15回の講義・演習を通して、大量の情報を概念化していくことを学び、思考・判断・想像力を鍛える

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		20点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		40点		
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	